

学びの文脈を考慮して ～学習履歴のクラウド化と共有化～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

2019年3月、韓国ソウル市の授業視察に行きました。その際、現地の方から「学習履歴を自治体のサーバーに保存し、子どもや保護者もそこにアクセスできる仕組みがある」と説明を受けました。詳しい内容まで教えてもらったわけではありませんが、当時、韓国の教育はとても進んでいると実感したことを覚えています。

日本でも現在はICT環境の整備が進み、自治体レベルでも個人レベルでも、多くの情報をクラウド上で共有できるようになりました。

私は、当時韓国で受けた説明に感銘を受け、GIGAスクール構想の導入後、授業の履歴を教員間で共有できるようクラウドに保存してきました。主なメリットとして、次のような点が挙げられます。

- ① 年度をまたいで担任が変わっても、これまでの子どもの学びの履歴を見ることができる。また、自分にはない視点の授業展開を知ることができる。
- ② 学習履歴を確認することで、学びの重複による無駄な時間を削減できる。
- ③ 学びの系統性を確実に担保できるとともに、履修漏れを防ぐことができる。
- ④ 授業者自身も、前年度に子どもたちが使用した学習カードなどを活用することができる。

このように、メリットは挙げればきりがありません。



日田市が導入している授業支援システムのロイロノート。この数年間で、児童や先生にも浸透してきました。



クリック一つで、過去の授業が全画面で再現されます。

今日のめあて⑧

とびばこ運動の
安全なおこない方を
ふみさり ← 手のつぎ方 ← ちゅく地 **かくにんしよう**



かかこみとびは
どう工夫したらで
きる？

前転と何が
ちがう？

だからどう
注意する？

注意するポ
イント

今日のめあて③

「順次接地」で
なめらかな回転に
チャレンジしよう
(知識・技能)

今日のめあて⑧

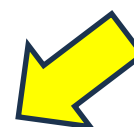
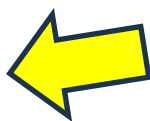
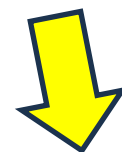
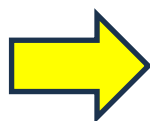
かかこみとびが
できるように考えよう
(思考・判断)

わかる ← できる
わかる ← 工夫する ← できる





これまでは、どんな授業をやれば良いかわからない時は、自分が受けてきた授業の経験に頼りがちだったのでは？



学びの履歴を共有していけば、子どもたちにとっても充実した学びが担保できます。

<履歴のため：撮影の場の工夫>



天気にもよりますが、カーテンを開けると逆光になりやすく、子どもたちの表情や動きがうまく残せません。



より使いやすい履歴が残せれば良いと思いカーテンを閉めています。



私たちのためだけでなく、子どもたちが動画を撮り合う時もくっきり写り、分析しやすくなります。